学校番号	１００７

令和３年度　商業科

教科	商業	科目	電子商取引	単位数	２単位	年次	１年次
講座名	文書デザインⅠ						
使用教科書	電子商取引　（実教出版）						
副教材等	日本語ワープロ検定試験模擬問題集２級・準２級編（日本情報処理検定協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、情報通信ネットワークについて学び、商取引の意義について理解を深め効果的な使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて演習等を通して考えましょう。

2　学習の到達目標

・高度情報社会における企業の役割を理解させる。
・情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解させるとともに，それを行うための知識と技術を習得させる。
・利用者の立場に立ったシステムを構築するため，コンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき，商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って，電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	・電子商取引システムを構築するために，目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり，顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに，分かりやすい情報発信ができる。 ・知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	・図形や静止画，動画，音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および，ウェブページの作成技法を身につけるとともに，これらを活用して電子商取引システムを作成できる。	・ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに，ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析，企画・立案，制作，公開の手法を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ターム	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	情報通信技術の進歩とビジネス	○ビジネスの変化 ○情報通信ネットワークの活用と課題	○	○	 ○	○ ○	a:情報通信ネットワークの活用によるビジネス形態の変化に関心を持ち，身近な具体例でそれらの特徴を理解しようとした。 b:電子商取引のメリット・メリットを理解し，その内容を具体的に表現することができる。 c:情報通信ネットワークを活用することきる。 d:ビジネスと情報通信技術との関連，通信技術の進歩に伴うビジネス形態の変化や消費者の購買行動の変化について説明することができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
2ターム・3ターム	コンテンツの制作	○ファイルの形式 ○図形 ○静止画 ○動画 ○音声 ○情報の統合	○	 ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:図形，静止画，動画，音声などによる情報の表現に関心を持ち，その特徴や表現方法を積極的に学ぼうとした。 b:図形，静止画，動画，音声などのファイル形式の違いにより，目的に応じた適切な方法を考え，表現することができる。 c:ワープロソフトウェアを利用して，基本図形や組織図，グラフなどを取り込み，編集することができる。 d:図形，静止画，動画，音声などのファイル形式や特徴，その役割について説明することができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
4ターム	ウェブデザインと広告・広報	○ウェブページ制作までの手順 ○ウェブデザイン設計 ○ウェブページ制作の基礎 ○ウェブページ制作の応用	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:ウェブページなどのインターネットを活用した広報活動に興味を持ち，これを効果的に行うための知識を積極的に学ぼうとした。 b:ウェブデザインにおいて，顧客の立場に立ったコンセプトを自ら考え，それをウェブページに表現をしようと工夫することができる。 c:コンセプトに合致したロゴデザインを作成することができる。 d:色彩，フォント，レイアウトなど，デザインするための基礎的な知識を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。